

新興国における情報セキュリティ - 総務省の取り組み -

水野伸太郎

総務省情報セキュリティ対策室

2011年2月26日

総務省の情報セキュリティへの取り組み

ネットワーク 安全なネットワーク環境



- ◆ISPのセキュリティ団体「T-ISAC-Japan」
 - ・2002年に主要ISPが集い設立。現会員17社
 - ・内閣NISCの「重要インフラ」対応の中心（事業者間及び官民連携・情報共有の推進）



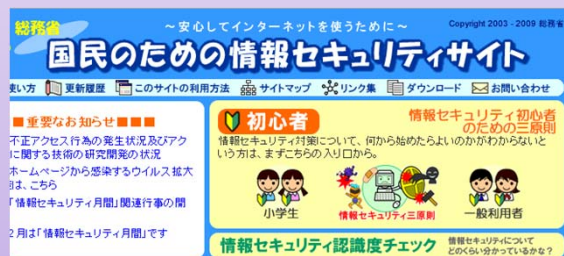
- ◆電子署名法の運用（2001年施行）
 - ・ネットでの安心・安全な利用者の認証の実現（経産省・法務省と共管）

人 利用者の意識向上

- ◆ユーザに身近な相談相手の育成
 - ・NPO等が取り組む「サポート育成」を支援（テキスト作成等に総務省予算5千万円）



- ◆特設ウェブサイトによる情報提供
 - ・国民のための情報セキュリティサイト」（基礎知識等を掲載。総務省サイトからリンク）



技術 技術的な対応能力の向上

高度化・多様化するセキュリティ脅威に対応するための研究開発の推進

（情報通信研究機構（NICT）の成果の活用や、大学・企業への委託研究など）



ウイルス対策技術

ポットウイルス対策(2005～)
総務省予算5.7億円(2010)

ネットワーク監視技術

NICTでのインシデント解析
NICTER(2007-)

暗号技術

NICTの脆弱性評価 など



二国間連携の強化

多国間会議での連携 APEC, ASEAN, OECD

国際標準化による技術展開 ITU

国際

情報共有

共同プロジェクト実施

事業者間交流の促進

研究者交流の促進

情報通信分野に関するアジア太平洋地域の主な多国間会議

APT (34+4associate)

ASEAN+対話国

日本、中国、韓国

ASEAN (10)

ラオス
ミャンマー
カンボジア

インドネシア、タイ
シンガポール、ベトナム
マレーシア、ブルネイ
フィリピン

豪州、ニュージーランド

APEC (21)

米
カナダ
ロシア
中国台北
中国香港
チリ
パプアニューギニア
ペルー
メキシコ

アフガニスタン、バングラディッシュ、ブータン、
フィジー、インド、イラン、北朝鮮、モルジブ、
マーシャル諸島、ミクロネシア、モンゴル、ナウル、
ネパール、パキスタン、パラオ、パプアニューギニア、
サモア、スリランカ、トンガ
(準会員：クック諸島、中国香港、中国マカオ、ニウエ)

日・ASEAN情報通信大臣会合（2011年1月マレーシア）

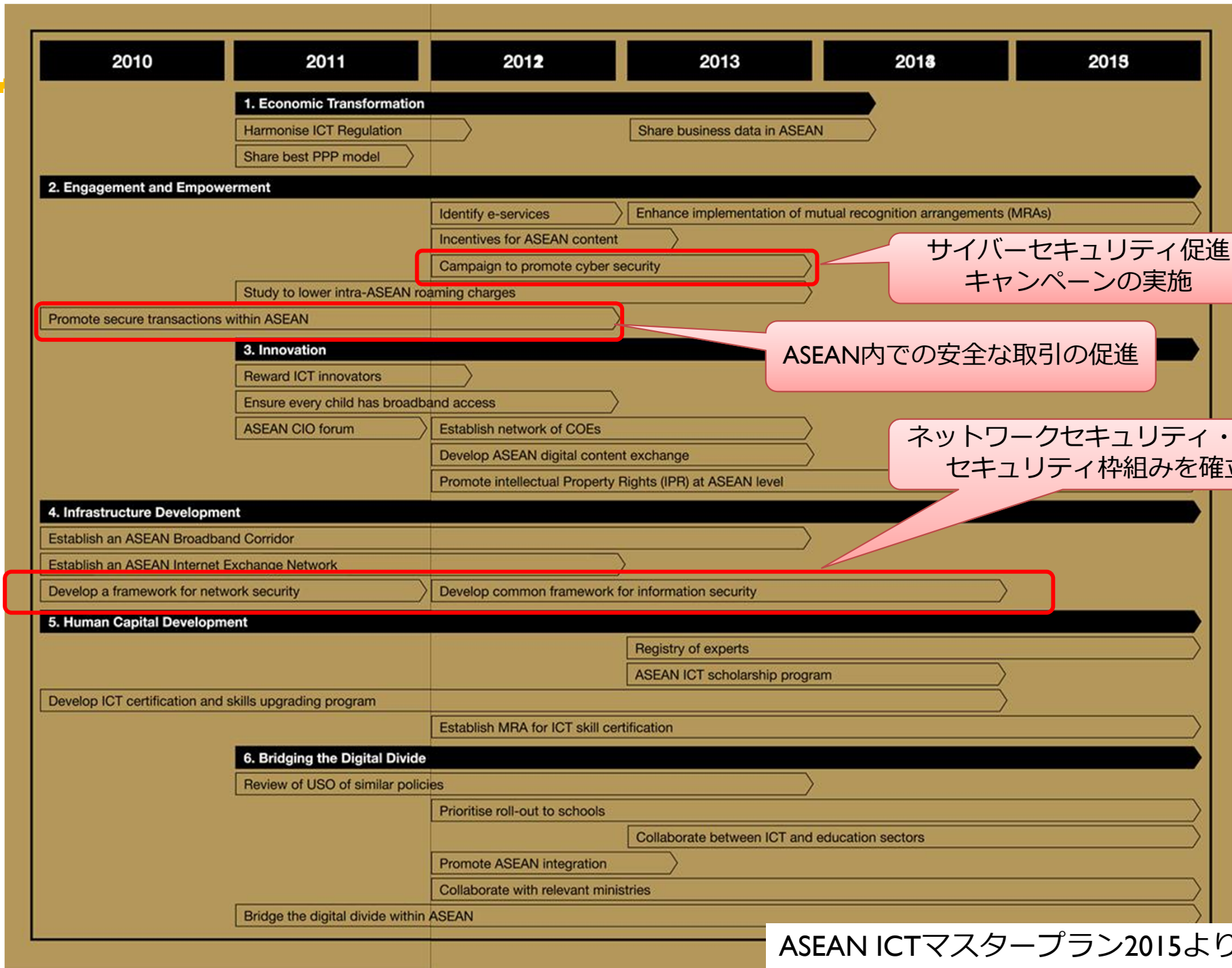
- 日本（片山総務大臣）及びASEAN10か国の情報通信担当閣僚が参加
- 「日・ASEANの情報通信分野における作業計画2011」取りまとめ
- 「情報セキュリティ分野における日・ASEANの連携枠組み」承認
- ASEAN側より「ASEAN ICTマスタープラン2015」の発表
 - <http://www.aseansec.org/documents/ASEAN%20ICT%20Masterplan%202015.pdf>
 - ASEANによる初のICT分野での共同計画。情報セキュリティに関しては、ネットワークセキュリティの向上、意識啓発などを含む



日・ASEAN情報通信大臣会合



ASEAN ICTマスタープラン2015の発表



サイバーセキュリティ促進
キャンペーンの実施

ASEAN内での安全な取引の促進

ネットワークセキュリティ・情報
セキュリティ枠組みを確立

ASEAN ICTマスタープラン2015より抜粋



- 第2回 日・ASEAN情報セキュリティ政策会議
(2010年3月タイ)
 - NISC、総務省、経産省がASEANと共催する高級事務レベル会合
 - 「情報セキュリティ分野における日・ASEANの連携枠組み」を策定、様々な取り組みを実施
 - 知識経済におけるセキュアなビジネス環境の構築
 - セキュアな情報通信利用環境の構築
 - 政府が主導する情報セキュリティ政策
 - 総務省の取り組み例
 - 通信事業者間の連携促進
 - スпам対策に関する連携促進
 - 研究者間の連携促進
 - 研修などを通じた人材育成
 - 第3回会合を2011年3月に日本で開催予定

日・ASEANに関する取り組み例



2011年1月

日・ASEAN情報セキュリティワークショップ (Telecom-ISAC Japan主催、総務省後援)

- 通信事業者を中心に、情報セキュリティ分野での取り組みに関する情報交換
- ASEAN6カ国のISP事業者、事業者団体及び政府機関から11名が参加
(インドネシア、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、タイ、ベトナム)

APT (アジア太平洋電気通信共同体)



APT大臣級会合（2009年バリ）

- 日本（寺崎総務審議官）をはじめ、APT加盟国の情報通信担当閣僚級が参加。5年ごとに開催。
- バリ宣言の政策目標4つのうちの一つに「ICTの活用による、安心・安全な環境の提供」
- サイバーセキュリティ機能の向上のための域内連携、サイバー空間上での青少年保護などを含む行動計画を策定

● 特別拠出金を通じたAPT研修の支援

- 「アジア・太平洋電気通信網高度化のための協力」
- 2006年度より「ブロードバンド通信のための情報セキュリティ構築」が実施されている（KDDI財団）
- 2010年度はAPT加盟国10カ国から政府担当者が参加

● APTサイバーセキュリティフォーラム（2010年豪州）

- バリ宣言の下、2010年10月オーストラリアで第1回会合を開催
- APT加盟国等から74名が参加
- 2011年の第2回会合を日本で開催予定

APTでの取り組み例



2011年1月：APT研修

「ブロードバンド通信のための情報セキュリティ構築」
アフガニスタン、バングラディッシュ、ブータン、
中国、インド、モンゴル、ミャンマー、パキスタン、
スリランカ、ベトナムから10名が参加



2010年10月：APTサイバーセキュリティフォーラム（豪州）

APEC電気通信・情報大臣会合（2010年10月沖縄）

- 日本（片山総務大臣、松下経済産業副大臣）を含むAPEC加盟21カ国・地域の電気通信・情報担当閣僚が参加
- 沖縄宣言の柱の一つに「安全・安心なICT環境の推進」
- 大臣会合にあわせ、サイバーセキュリティ意識啓発の日の策定、及び日韓共同で大臣会合会場におけるポスター展示を実施（総務省、NISC）

• APEC-TEL (電気通信・情報作業部会)

- 年2回開催される作業部会であり、情報セキュリティに関しては、セキュリティ・繁栄分科会で議論
- 共同プロジェクト、ワークショップ、情報共有などを実施
 - 情報セキュリティ戦略策定プロジェクト
 - 意識啓発プロジェクト
 - 電子認証に関する国際トレーニングプログラム
 - ISP向けのベストプラクティスガイドライン策定 等

沖縄APECでのポスター展示会



10エコノミーから24枚のポスター、パンフレット等を展示
オーストラリア、ブルネイ、中国、日本、韓国、マレーシア、
シンガポール、中国台北、タイ、アメリカ

「推奨される情報セキュリティ対策5カ条（サイバーセキュリティトップティップス）」 （仮訳）

1. 強力なパスワードを使用し、安全に管理しましょう:

パスワードは最低でも8文字以上とし、数字や記号を混ぜるようにしましょう。また、最低でも90日程度の期間で定期的にパスワードを変更し、パスワードをインターネット、電話及び電子メールなどで知らせたりしてはいけません。

2. セキュリティ対策ツールを使用し、更新を忘れないようにしましょう:

あなたのコンピュータを保護するために、ファイアウォールやアンチウイルス、アンチスパイウェアといったツールを使用しましょう。また、これらのツールの定期的な更新だけではなく、オペレーティングシステムや導入しているアプリケーションのセキュリティパッチを適用することで、既知のぜい弱性による攻撃に対応することができます。

3. 重要なファイルはバックアップを取りましょう:

オンライン決済等の記録等の重要なファイルはバックアップを取り、厳重に保護しておきましょう。

4. あなたがネット上で誰とやりとりしているのかを知っておきましょう:

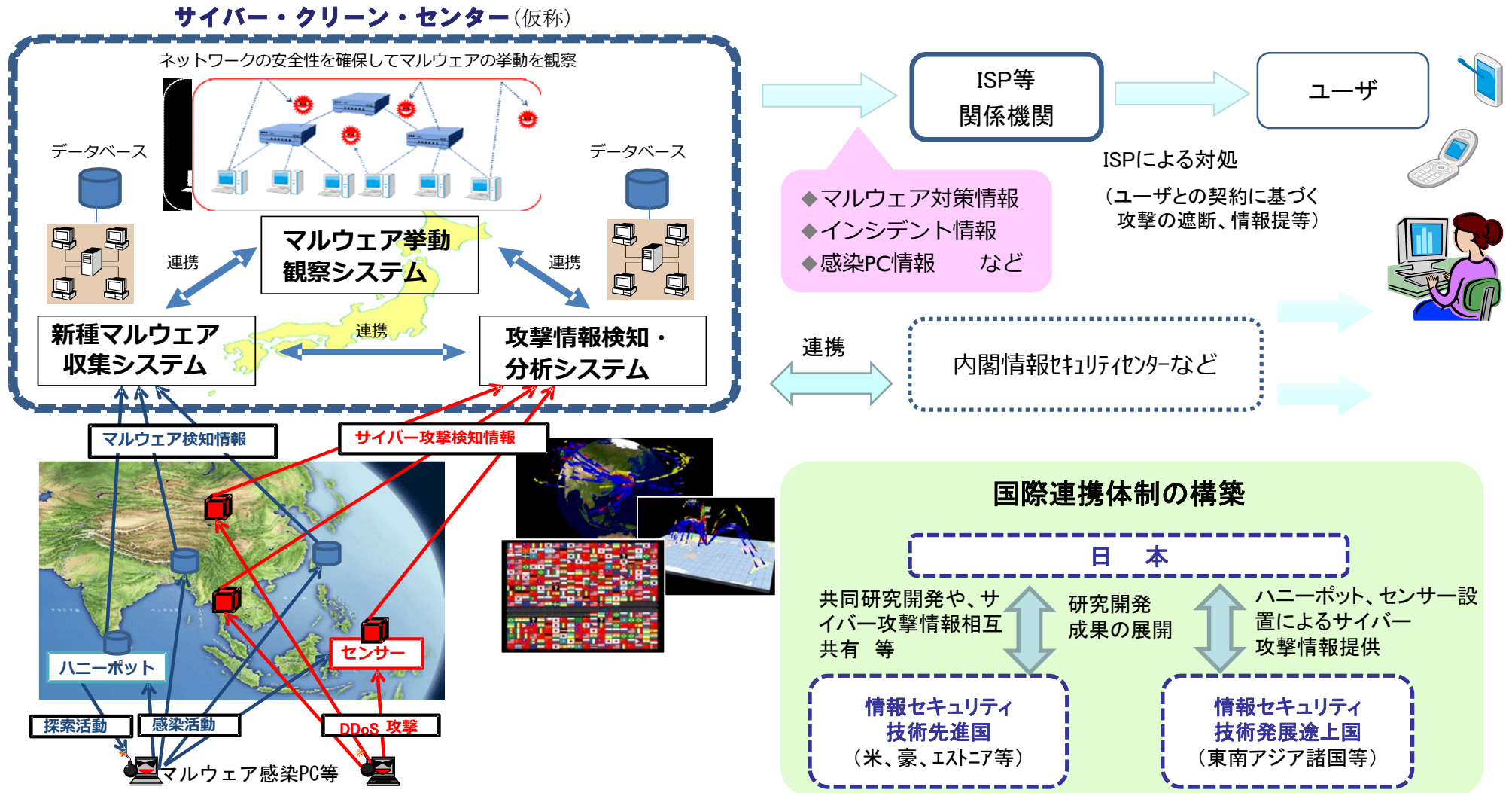
素性の判らない相手から送られた添付ファイルを開いたり、教えられたリンクを安易にクリックしたりしてはいけません。

5. オンラインでは常に注意を払いましょう:

不必要に個人情報インターネット上に公開してはいけません。また子供がインターネット上で、どのようなサイトにアクセスしているかといった活動について、監視をしておきましょう。

総務省の新プロジェクト 国際サイバー攻撃の予知・即応技術

- ◆「新種マルウェア収集」「マルウェア挙動観察」「攻撃情報の検知・分析」を、国内外で総合的に実施して、能動的なネットワーク・セキュリティ対策を図る。(2011年度予算額:6.29億円)





総務省

Ministry of Internal Affairs and Communications

ご静聴ありがとうございました